
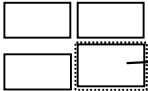
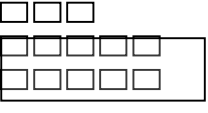

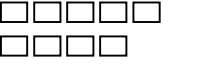

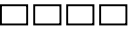
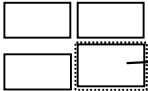
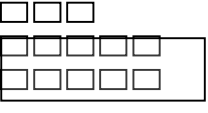

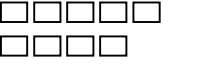

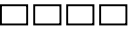
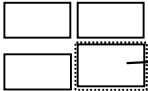
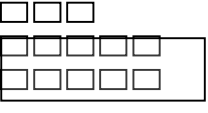

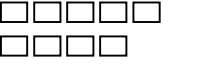

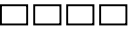


課題	4.3-2.9の筆算の仕方を考えよう。	小数のひき算の筆算の仕方を考えましょう。 
----	---------------------	--

既習事項	①0.1をもとにして考えてみよう。	②たし算の筆算でやったようにする。	③タイル図と位取り表でやってみよう。
------	-------------------	-------------------	--------------------

自力解決	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>①0.1が何個分かで考えると良かったんだから</p> <p>4.3は0.1が43個分 2.9は0.1が29個分だから</p> $\begin{array}{r} 43 \\ -29 \\ \hline 14 \end{array}$ <p style="text-align: right;">←0.1が14個分ということだから、1.4になるんじゃないかなあ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>②たし算の筆算では整数と同じようにやっていたから</p> $\begin{array}{r} 4.3 \\ -2.9 \\ \hline 1.4 \end{array}$ <p>小数点はそろえて打つんだから・・・。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③タイル図と位取り表を使って計算をしてみよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%;">一の位</th> <th style="width: 50%;">小数第一位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr style="border-top: 2px solid black;"> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>小数第一位は引けないから一の位から繰り下げて13-9=4になる。一の位は繰り下げたから3-2=1 　　だから1.4になる。</p> </div>		一の位	小数第一位				-							1	4
	一の位	小数第一位														
																
-																
																
	1	4														

指導上の留意点

- 前時までの小数の加減を振り返る声掛けやヒントカード、算数コーナーでの掲示があると良いです。
- 自分の考えを持った児童は、それを言葉で説明できるようにノートに書かせましょう。

■ この指導の流れは、「小数のたし算の筆算」を指導する場面で、意味理解を十分に図ることができなかった場合のものです。

■ 「小数のたし算の筆算」の意味理解が定着している場合は以下の指導過程も考えられます。

【課題提示】

小数のひき算の筆算の仕方を考えましょう。

【既習事項の想起】

たし算の筆算と同じようにできるかな？

【自力解決】

小数点はそろえて筆算するんだったから・・・

そのような筆算をしていい理由を考えましょう。

0.1をもとにして・・・

タイル図と・・・

【集団思考】

※以下、筆算とその根拠を発表させ、筆算の仕方をまとめ、適用問題を行う。

1 自分の考えを発表する。



①0.1 が何個分かで考えると 4.3 は 43 個分, 2.9 は 29 個分になる。これを引くと $43 - 29 = 14$ になる。これは 0.1 が 14 個分ということだから 1.4 が答えだと思う。小数点は、たし算と同じようにおろした。



②たし算の筆算と同じで、整数のように計算すればいいと思うから $43 - 29 = 14$ となって、小数点をそろえて打つと 1.4 になった。



③タイル図と位取り表を使ってみると小数第一位が 3 個と 9 個になる。3-9 はできないから、1 繰り下げた。10 個で 1 になるから、 $13 - 9$ を計算して 4 になる。一の位は 4 個だけど、繰り下げの分があるから引いて 3 になる。3-2 をすると 1. だから答えは 1.4 だと思う。

みんな同じ答えになったけど、確かめをしてみよう。



(確かめた結果) 答えが 1.4 になることが分かったね。じゃあ、それを筆算で書いてみよう。

提示

$$\begin{array}{r} 4.3 \\ -2.9 \\ \hline 1.4 \end{array}$$



小数のひき算も整数の時と同じようにできるんだ。



小数点の打ち方も同じだね。

2 まとめる。

そうだね。じゃあ、筆算の仕方をまとめよう。



小数のひき算の筆算は

- ①位をそろえて書く。
- ②整数のひき算と同じように計算する。
- ③上の小数点にそろえて答えの小数点をうつ。

$$\begin{array}{r} 4.3 \\ -2.9 \\ \hline 1.4 \end{array}$$

●発表用に掲示する方法を決めて、準備をしておきましょう。
提示方法例：掲示用黒板
画用紙
実物投影機
等

●前時までの加減計算で出てきたマス図や数直線等の中で、児童が理解しやすいものを使って答えを確かめると良いです。

●児童から出ない時には、たし算の時のまとめを振り返られるように声掛けをするなどして、できるだけ児童の発言でまとめるようにしていくと良いでしょう。

●ただし、混乱しそうな時には教師主導をしながら、一緒に確かめながらまとめていきましょう。

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

- 教科書の問題でも、0の省略や0を補うことを必要とする問題もあるので、学習をしてから解かせるようにしましょう。
- 小数点の位置でつまずく児童には、筆算の仕方をもう一度振り返らせ、小数点の位置をしっかりと意識させていくと良いです。